

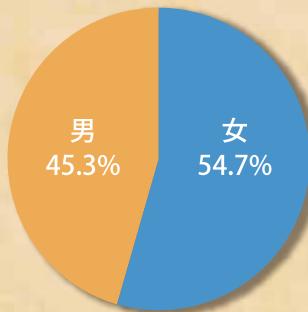
広報おごおり アンケート結果を お知らせします

■アンケート実施方法

平成26年11月1日号にアンケート用紙を掲載
ファクスまたは料金受取人払い郵便で回答

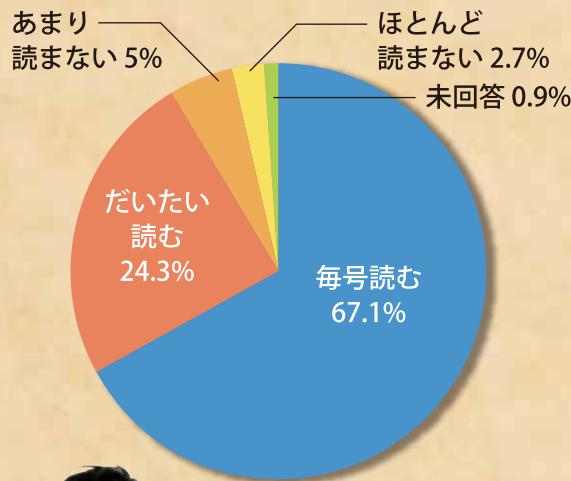
昨年11月1日号で、広報おごおりは600号を迎えるました。これを機に、より良い広報紙づくりを行うため、アンケート調査を実施し223件の回答をいただきました。今回は、このアンケート結果をお知らせします。

Q1 あなたの性別は？



Q3 「広報おごおり」を 毎号読みますか？

約91%の人に「毎号読む」「だいたい読む」と回答いただきました

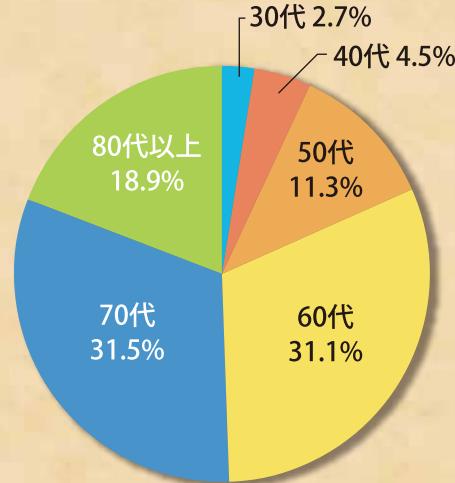


■アンケート回収状況

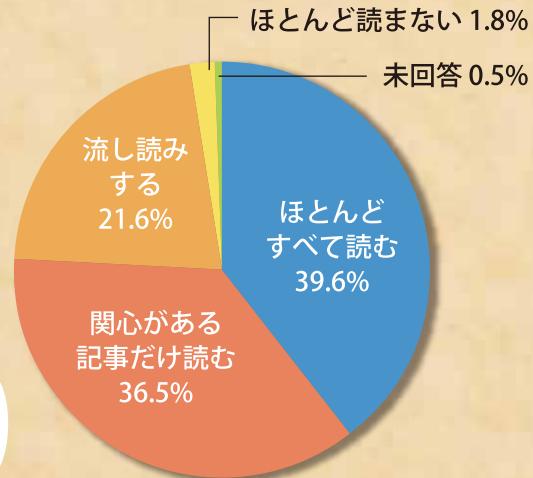
広報配布世帯数 20,859世帯
回収数 223件(約1.07%)

Q2 あなたの年代は？

回答をいただいたうち、約82%が60代以上の方でした



Q4 「広報おごおり」を どの程度読んでいますか？



ご回答いただき
ありがとうございました！！



Q5 文字の大きさは読みやすいですか？

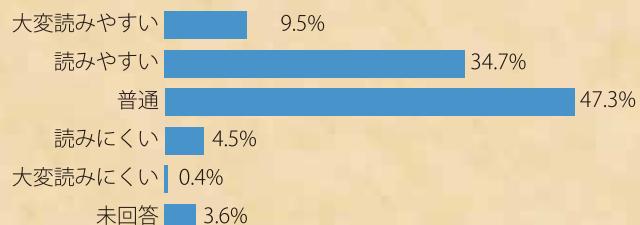


意見・感想から

- ・文字も大きいのでとっても読みやすいし、カラフルなので楽しい。毎月来るのを楽しみにしている(70代女性)
- ・全般に分かりやすく、デザインのセンスが良い(70代男性)

Q6

レイアウト、デザインは読みやすいですか？

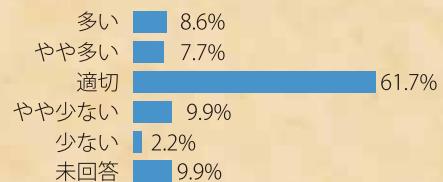


Q7 情報量(ページ数)は適切だと思いますか？

1日発行号



15日発行号(お知らせ版)

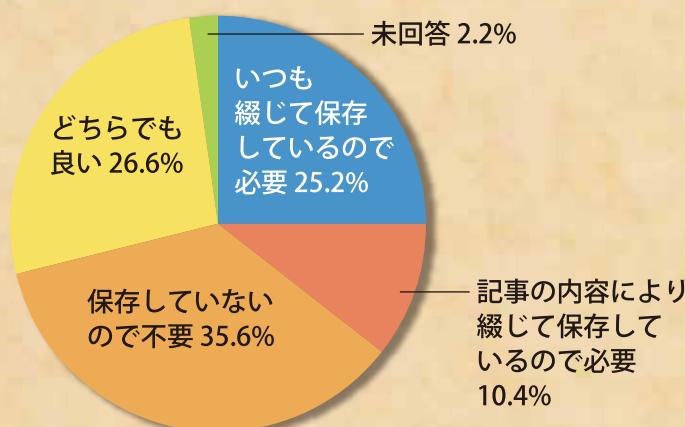


1日発行号は、特集ページ（「国民健康保険」の話）や啓発ページ（人権・部落問題シリーズ、女と男 パートナーシップ）、「まちの話題」「図書館だより」など毎月掲載するコーナーを中心に、28ページ程度の内容で発行しています。

15日発行号(お知らせ版)では、休日診療や公共施設の休館日、各種相談コーナー、暮らしの情報などの翌月のお知らせを12ページ程度掲載しています。

気軽に読んでいただけるよう、情報を選別して簡潔な内容の記事づくりを目指していきます。

Q8 広報おごおりには「とじ穴」を空けていますが、必要だと思いますか？



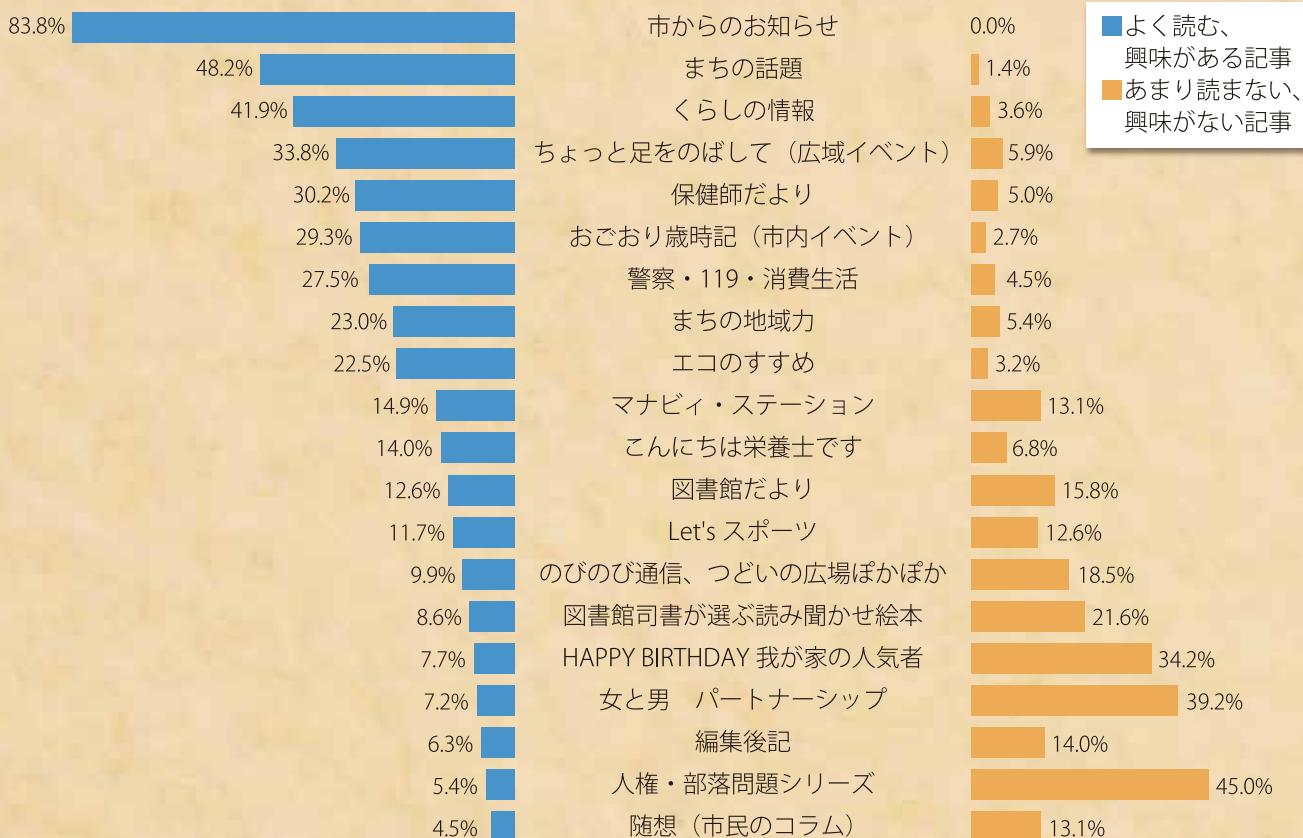
平成26年4月から広報の表紙をリニューアルし、写真を大きく掲載しています。よく撮れた写真と思っても、とじ穴部分に人の顔があたると、写真を変更することがありました。そのため、この質問をさせていただきました。

この回答から、約36%の方が広報を綴じて保存されていることが分かりました。広報担当として、うれしい限りです。

今後もとじ穴を空けて作成します。

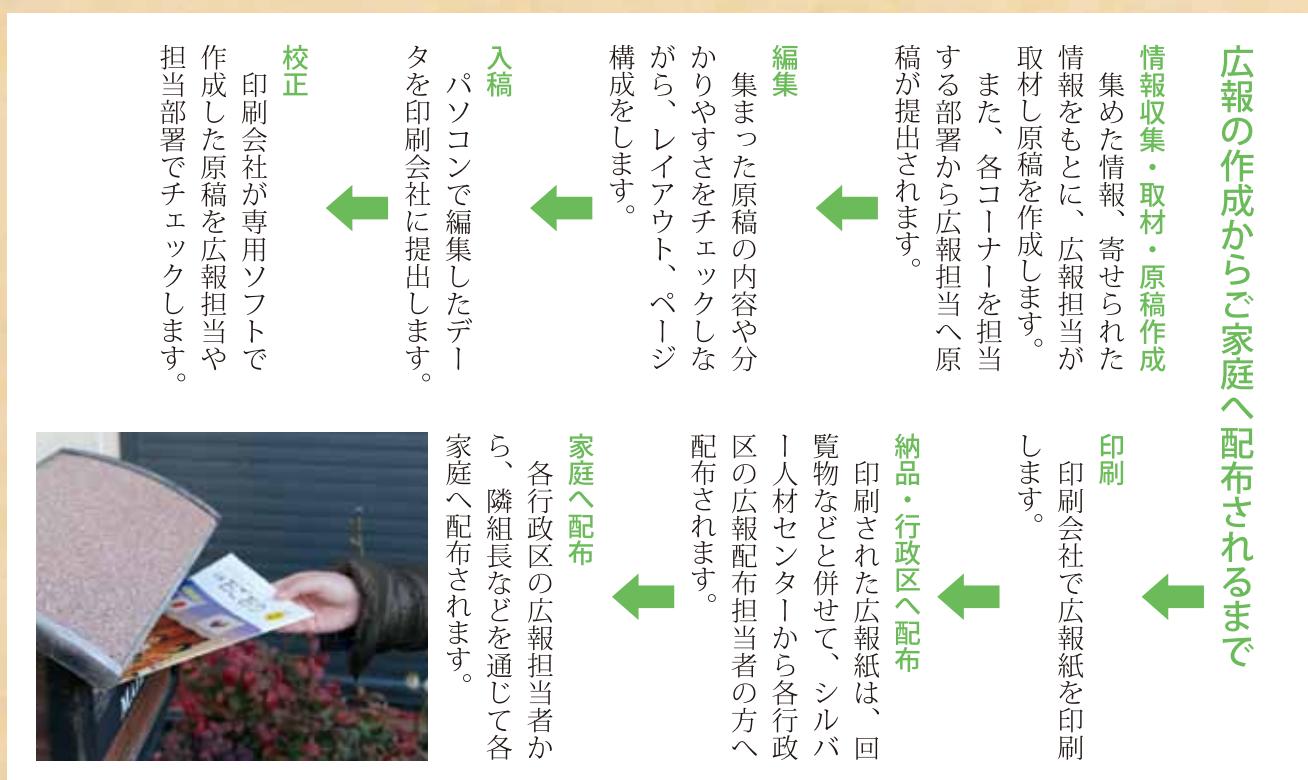
Q9

よく読む、興味がある記事は？ あまり読まない、興味がない記事は？(複数回答)



「市からのお知らせ」「くらしの情報」など行政情報や身近な情報、「まちの話題」「ちょっと足をのばして」「おごおり歳時記」など市内外イベント情報をよく読む、興味があると多くご回答いただきました。

回答者の約82%が60代以上ということもあり、子育て関連のページであまり読まない、興味がないという回答が多くなっているようです。また、「女と男 パートナーシップ」「人権・部落問題シリーズ」などの啓発ページもあまり読まない、興味がないという回答が多くなっています。



皆さまからの自由意見をご紹介します

子どもがいるので読み聞かせ絵本の紹介が参考になる(30代女性)

仕事を退職し外とのつながりがなく、広報は情報源で楽しみ。イベントなどを知ることができる。パソコン教室の案内や健康面での記事とか興味あり(60代男性)

紙面の充実を希望。リアルな情報をスピード感を持って提供してほしい(50代男性)

小郡の動きが分かり、外に出る機会が少なくなったり人と交わる機会が減った者には良き読み物である。保健師だよりの目や歯に良いものの記事、参考にしている(80代女性)

内容も充実していいけど、市で行われたイベントなどどんなんだつか分かるような写真や記事をもう少し載せてほしい。そうすれば次回、開催されるとき行こうと思うのではないかと思う(40代女性)

テレビやインターネットで必要な多くの情報が得られることから、新聞でさえ斜め読みしかしていられない。広報紙であれば、自分に役立ちそうな情報だけ拾い読みすることになる(60代男性)

色数が多くなり、カラフルできれいになった。写真も鮮明になり、前よりも見やすくなつた。小郡のことを知るために、もっと読みたいと思う(50代女性)

小郡に住んでいるが、何かインパクトが少ない気がする。小郡に住んで良かった、こんなに素晴らしいぞとPRし、人に紹介できる特集記事を期待している(60代男性)

子ども、老人の記事が多く、私たち世代の生活に役立つ記事が少ないと思う。イベントも子ども連れ用が多く参加したくてもできない。新しい店の紹介など、もっと街が活気づき、経済が回る広報にしていくべきでは(40代女性)



アンケート結果を受けて

今回の広報アンケートの意見・要望欄には、「毎回届くのが楽しみ」といううれしいお言葉から、さまざまなお要望、有難いご指摘まで多くのご意見をいただきました。

この中で特に多かつた2点について、回答します。

①「広報発行は、月1回でいいのではないか」

発行回数を減らすことで、経費の節約につながりますが、一方で、次のようなデメリットがあります。

- ・適切な時期に適切な情報が伝えられない
- ・掲載する情報量が少なくなる
- ・掲載できる情報量が少なが伝えられない

あるので、1回あたりのページ数が増えることから、毎月1回の発行へ変更は困難ですが、年始などの配布間隔が短くなる時期で、月1回発行ができないか検討します。

このことから、毎月1回の発行へ変更は困難ですが、年始などの配布間隔が短くなる時期で、月1回発行ができないか検討します。

どうございました。

1日発行号 21.85円
(平均28.5ページ)
15日発行号 9.83円
(平均13.0ページ)

1日発行号 21.85円
(平均28.5ページ)
15日発行号 9.83円
(平均13.0ページ)

それぞれ1部あたりの印刷経費(平成25年度)を見てみると

このほかにも、多くの貴重なご意見・ご要望をいたしました。今回、全てをご紹介できませんでしたが、今後の広報紙づくりに役立てていただきます。ご回答いただいた